

モーツァルト 生涯と作品

青春のモーツァルト パリへの青春旅行がもたらした名曲

講師 ピアニスト 久元 祐子

名作曲家であると同時に名ピアニストでもあった天才モーツァルト。35年間の人生で紡がれた作品の魅力とは。

楽譜にこめられたモーツァルトのメッセージを丹念によりよみとき名演を重ねるピアニスト・久元祐子さん。幼年時代から晩年までの生涯と作品をたどり、演奏技法やスタイルの変遷、当時の楽器の特徴にも触れながら、演奏を交えてお話しします。今回は、「青春のモーツァルト パリへの青春旅行がもたらした名曲」をテーマに、「“ああお母さん、聴いて頂戴”による変奏曲 K265」「“わたしは、ランドール”による変奏曲 K354」「ヴァイオリンソナタ K304」などを取り上げます。2014年7月開講。

<今後のテーマ>

2015年1月期 栄光のモーツァルト～ウィーンで生まれた名曲たち～「ピアノ協奏曲 K466」、「ピアノソナタ K333」、「幻想曲 K397」ほか

2015年4月期 晩年のモーツァルト～光と影のうつろい～「ロンド K511」、「ピアノ協奏曲 第27番」、「自動オルガンのためのアンダンテ K616」



©Katsuo Sakayori

<講師紹介>久元祐子 ひさもとゆうこ 東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追求する。ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」「青春のモーツァルト」「ベートーヴェン“テレーゼ”」「ワルトシュタイン」(以上、コジマ録音)は新聞や雑誌で絶賛される。著書に「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)「原典版で弾きたい! モーツァルトのピアノソナタ」など。毎日21世紀賞特選受賞。久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

日時 2014年 12月20日(土) 16:00~17:30

受講料 会員 3,240円 入会金は5,000円(税別)。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。

一般 3,888円

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
※個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター 新宿
朝日JTB・交流文化塾 新宿

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1945
<http://www.asahiculture.com/shinjuku>